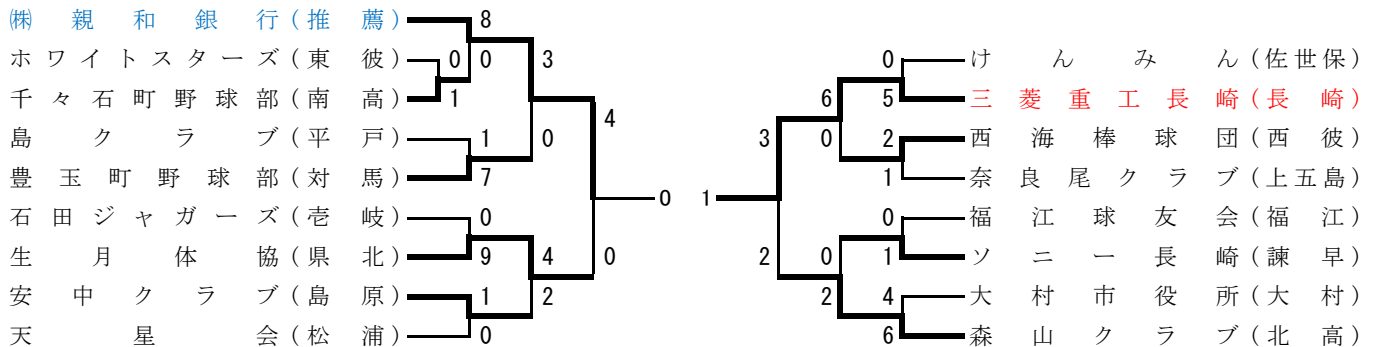


三菱重工と親和銀行の12年ぶり6度目の決勝対決は重工に凱歌

第49回長崎県軟式野球選手権大会

会期：平成11年10月30日(土)～11月1日(月)

会場：県営ビッグNスタジアム、かきどまり野球場



(平成11年10月31日付けの長崎新聞より記事と写真は抜粋)

千々石が投手交代機を突く

【ホワイト】 打安点

⑥	田崎俊	3	0	0
④	川崎屋	3	0	0
⑤	土屋	3	0	0
③	広田	3	1	0
⑧	福田	3	1	0
②	中村	3	0	0
①	辻	2	0	0
R7	松本	0	0	0
⑨	川添	1	0	0
H	長与	1	0	0
9	田崎	0	0	0
⑦	山崎	3	0	0
		25	2	0

【一回戦】ビッグN：第1試合 振球犠盗失残併

ホワイトスターズ	000 000 00	0	6	2	1	2	0	7	0	1時間37分
千々石町野球部	000 000 01x	1	9	0	0	0	3	5	2	【二】広田

(延長8回は無死満塁制)

【千々石】 打安点

⑥	宮本	3	0	0
④	田中	3	1	0
①	林田哲	3	0	0
⑨	平岩	3	0	0
②	山本	3	0	0
③	鶴崎	3	1	1
⑦	小崎	2	1	0
⑤	林田安	2	0	0
⑧	林田勝	2	0	0
		24	3	1

【評】ホワイトスターズの辻と、千々石町野球部の林田哲・両投手の投げ合いで0-0のまま特別延長戦となったが、八回の千々石は鶴崎が福田投手の代りばなをとらえ左前に決勝打を放ちサヨナラ勝ちした。ホワイトは結果的には投手交代が裏目に出たが、攻撃面でも詰めが甘く好機を生かせなかったのが敗因。どちらも選手権初出場で、人工芝の感触を味わいながらの試合だった。

守備力の差、豊玉が圧勝

【島ク】 打安点

⑨	度里島	2	1	0
④	35里村	2	0	0
①	16樺山	3	2	1
⑥	51村田	3	0	0
⑦	山田	3	0	0
③	18山見	1	0	0
⑧	小野	1	0	0
H3	横石	1	0	0
⑤	4石田	2	0	0
②	柳本	2	1	0
		20	4	1

【二回戦】ビッグN：第2試合 振球犠盗失残併 (6回時間切れ)

島クラブ	001 000	1	3	3	0	0	3	4	0	1時間30分
豊玉町野球部	300 301x	7	3	6	1	4	0	7	1	【三】村井

【豊玉】 打安点

④	横瀬	4	0	0
①	宮地	3	1	0
⑤	吉村	3	1	0
⑧	阿比留	3	0	1
②	原田	1	0	0
⑨	宮崎	2	0	0
⑦	増田	3	0	0
⑥	村井	2	1	0
③	中島	3	1	1
		24	4	3



3回表島クラブ二死二三塁、樺山の中前打で三走の柳本に続き、二走度里も本塁を狙うがタッチアウト。捕手原田。

【評】安打数は同じ4本ながら豊玉町が一、四回に各3点とまとめて得点したのに対し、島クラブは三回柳本の適時打で1点を返しただけ。一方的な展開になったのは島クラブに手痛いタイムリーエラーが出たため、守備力の差が明暗を分けたといえる。

親銀、V3へ好発進 6回コールド

【親銀】 打安点

⑨	北田	4	0	0
④	原田	2	1	0
⑦	丸本	2	0	0
⑤	添田	3	0	0
②	田口	2	0	1
③	前川	3	1	3
⑧	中村	2	1	1
⑥	清水	2	0	0
①	山口	3	1	3
		23	4	8

【二回戦】ビッグN：第3試合 振球犠盗失残併 1時間18分

親和銀行	000 035	8	3	5	0	2	0	2	0	【本】山口
千々石町野球部	000 000	0	7	0	0	0	1	0	0	【二】前川

【千々石】 打安点

⑥	宮本	2	0	0
⑤	田中	2	0	0
①	林田哲	2	0	0
⑨	平岩	2	0	0
②	山本	2	0	0
③	鶴崎	2	0	0
⑦	小崎	1	0	0
H	林田和	1	0	0
⑨	矢崎	1	0	0
H	林田宣	1	0	0
⑧	林田勝	1	0	0
H	林田安	1	0	0
		18	0	0

【評】親銀のエース山口が6回コールドの参考記録ながら完全試合を演じる快投を見せた。先制点を叩き出したのも山口。五回四死球の走者を置いて、山口の一打は右翼左を襲うライナー。これを右翼手が後にそらす間に山口は本塁を踏み(記録はランニングホームー)3点。勢いに乗った親銀は六回に、5点を追加してコールドとした。

【石田】	打安点
⑤板川幸	2 0 0
⑨三木	2 0 0
⑧浜口	2 0 0
②中村	2 0 0
⑦広瀬	2 1 0
H江瀬	1 0 0
⑥山内	2 0 0
①堤	0 0 0
1末永	1 0 0
④板川旭	1 0 0
	16 1 0

生月、序盤に勝負を決める

【二回戦】ビッグN：第4試合 振球犠盗失残併 1時間19分

石田ジャガーズ	000 00	0	5	0	0	0	3	1	0
生月体協	250 2X	9	1	4	0	1	0	5	0

(5回コールド)

【評】立ち上がり塩屋の左前タイムリーと森田輔の内野ゴロで2点を先制した生月体協は二回にも4安打に敵失や四球を絡めて大量5点を加え、早々と勝負を決めた。

石田ジャガーズは精彩を欠き、二回一死から広瀬章が安打で出塁したのが唯一の走者だった。

【生月】	打安点
⑥福田	3 0 0
③塩屋	2 1 1
⑧大川	2 2 0
⑤森田	2 2 1
④戸田	1 0 1
⑨森田	3 1 2
②藤永	3 1 1
①石屋	3 1 0
⑦塚本	2 0 0
	21 8 6

安中、7回に果敢な攻め

【天星会】	打安点
④沢田	2 0 0
⑥橋口	3 0 0
⑤緒方	3 0 0
⑨下久保	3 0 0
③本多	3 0 0
①石井	2 0 0
②小野	2 1 0
⑧北川	2 0 0
⑦渡口	2 0 0
	22 1 0

【二回戦】ビッグN：第5試合 振球犠盗失残併 1時間38分

天星会	000 000 0	0	6	1	0	1	0	2	0
安中クラブ	000 000 1x	1	1	5	1	5	0	9	0

【二】岩本

【評】押し気味に試合を進めながら得点に結び付けなかった安中クラブだったが、土壇場の七回裏に先頭で出た松尾が送りバントで二進した後に、投手でありながら果敢に三盗を試み成功。平野の二塁ゴロで本塁を突き捕手のタッチをかいくぐって生還し決勝の1点をもぎ取った。

選手権初出場の天星会は1安打では勝ち目が薄かった。

【安中】	打安点
⑧田島	3 0 0
②平野	4 2 1
⑥柿本	3 1 0
④岩本	2 1 0
③高見	2 0 0
⑤小宮	1 0 0
⑦宮崎	3 0 0
⑨出田	2 0 0
①松尾	3 1 0
	23 5 1

三菱重工が終始リード

【三菱】	打安点
⑨榎本	4 2 1
⑧菅	2 0 0
⑤宮本	4 2 1
⑦江石	4 1 1
④江石	4 1 0
⑥中村	3 1 0
②鈴木	2 1 1
③山崎	1 0 0
H4久光	1 1 0
①守田	3 0 0
	28 9 4

【二回戦】かきどまり：第1試合 振球犠盗失残併 1時間44分

三菱重工長崎	000 101 3	5	4	2	2	1	2	6	1
けんみん	000 000 0	0	4	1	0	2	1	3	0

【三】江添、久米

【二】榎本、石川、宮本

【評】序盤に二度の好機を逃がした三菱重工長崎は四回に鈴木の本塁打で先制。六回には相手投手の暴投で追加点。最終回には江添の右翼線三塁打など4長短打で3点を奪いダメ押し。投げては守田が直球とカーブのコンビネーションでけんみん打線を散発3安打に封じる好投をみせた。

けんみんは今季の西日本1部大会(大分県)に出場している。

【けんみん】	打安点
⑥横山	3 0 0
④川口	3 1 0
⑧橋元	3 0 0
②桑原	3 0 0
①中島	3 0 0
⑤長谷	2 0 0
③濱元	3 0 0
⑦藤山	2 1 0
⑨宮崎	2 1 0
	24 3 0

西海棒球队が逆転勝ち

【西海】	打安点
⑧吉田	4 0 0
②増山	3 1 0
⑥船木	3 3 0
⑨7辻尾	3 2 1
③太田	3 1 1
⑤山川	2 0 0
H本田	1 0 0
④辻山	3 0 0
⑦山下	2 0 0
H藤本	1 0 0
9岩永	0 0 0
①太田	3 1 0
	28 8 2

【二回戦】かきどまり：第2試合 振球犠盗失残併 1時間56分

西海棒球队	000 002 0	2	5	0	0	0	2	4	0
奈良尾クラブ	000 010 0	1	4	1	0	1	1	6	0

【三】辻尾

【二】西村

【評】西海棒球队が終盤の集中打で逆転勝ちをおさめた。1点差を追う六回の西海は辻尾と太田勇が右狙いの連続適時打で逆転し、投げては太田昭が奈良尾クラブを5安打1失点に抑えて完投勝ちした。

奈良尾クラブの中村投手は粘り強い投球を見せたが打線の援護に恵まれず2年連続14回目の選手権も、5大会連続で初戦敗退した。

【奈良尾】	打安点
⑥西村	4 2 0
⑧城山	3 0 0
⑤窄口	3 2 0
⑦山脇	3 0 0
②津田	3 1 0
①中村	3 0 0
④浜村	3 0 0
⑨橋口	2 0 0
③中田	3 0 0
	27 5 0

四球押し出しサヨナラのソニー長崎

【福江】	打安点
⑥田中	3 0 0
⑧中尾	3 0 0
②才津	3 1 0
④荒木	3 1 0
⑤鍋内	3 0 0
⑦藤原	3 2 0
③田中	3 1 0
①坂井	3 0 0
⑨池内	3 0 0
	29 5 0

【二回戦】(かきどまり：第3試合) 振球犠盗失残併

福江球友会	000 000 00	0	2	0	0	0	0	6	1
ソニー長崎	000 000 01x	1	3	6	1	5	0	8	1

1時間40分

(延長8回は無死満塁制)

【評】ソニー長崎の本田と福江球友会の坂井・両投手譲らず無死満塁制の特別延長戦となった八回裏、ソニーは川下修が四球を選んでサヨナラ勝ちした。本田は得意のスローカーブで低目を丁寧に突き、要所を凡打で締めた。

福江の坂井も被安打3と好投したが最後に力尽きた。

【ソニー】	打安点
⑥川下	2 0 1
④川田	2 1 0
②戸嶋	1 0 0
⑧増本	2 0 0
⑦平湯	3 0 0
③川原	2 0 0
⑤天野	2 0 0
①本田	3 1 0
⑨川下	2 1 0
	19 3 1

【森山】	打安	点	
⑥ 藤山	4	1	2
④ 井手	3	1	0
H3 早田	1	0	0
⑤ 緒方	4	1	2
⑨ 馬場	4	0	0
③7 中野	4	1	0
② 山本	2	0	0
① 土橋	3	1	0
⑦ 杉村	2	0	0
H74 楠山	1	1	1
⑧ 広渡	1	0	0
H8 木村	2	0	0
8 草野	0	0	0
	31	6	5

森山ク、特別延長戦を制す

【二回戦】(かきどまり：第4試合) 振球犠盗失残併

森山クラブ	000 000 24	6	4	1	0	1	1	8	2
大村市役所	000 000 22	4	6	3	0	3	0	6	0

1時間57分

(延長8回は無死満塁制) 【二】中野、土橋、緒方

【評】特別延長戦(無死満塁制)の八回、森山クラブは大村市役所の浦辺投手の低めカーブを狙い打ち。藤山の2点適時打に緒方の左翼線二塁打などで計4点を奪い、大村市役所を突き放した。

大村市役所はその裏に2点差まで追い上げる粘りを見せたが、あと一歩及ばなかった。

【大村】	打安	点	
⑦ 岩永	4	0	0
⑧ 鈴木	3	1	0
③ 今村	2	0	0
② 古賀	3	1	0
⑨ 嶋濱	3	1	2
① 浦辺	2	1	0
④ 森誠	3	0	0
⑥ 松下	2	0	1
⑤ 山下	2	0	0
H 小川	1	0	0
	25	4	3



【豊玉】	打安	点	
④ 横瀬	3	0	0
⑧ 宮地	3	0	0
⑤ 吉村	2	0	0
H 平江	1	0	0
⑨ 阿比留	2	0	0
② 原田	2	0	0
⑥ 村井	2	0	0
⑦ 増田	2	0	0
① 宮崎	2	0	0
③ 中島	2	0	0
	21	0	0

江口(親銀)完全試合を達成

豊玉、的絞れず

【準々決勝】(かきどまり第1試合) 振球犠盗失残併

豊玉町野球部	000 000 0	0	3	0	0	0	1	0	0
親和銀行	110 001 X	3	3	3	1	2	0	3	0

1時間13分

【三】田口

【評】親和銀行の江口投手が完全試合を達成した。江口は球威、制球ともに十分で完璧な投球。横手からの速球に多彩な変化球を織り交ぜて全局的を絞らせなかった。守備陣も堅い守りで貢献した。

攻めては初回二死三塁から添田の左前打で先制。二回は無安打で1点。六回には田口の適時三塁打で加点し江口の快投にこたえた。



投球数わずか64球

○…豊玉町野球部戦で完全試合を達成した親和銀行の江口正敏投手は入社8年目の30歳。「いつも通りバックを信頼して投げた。初めての体験でうれしい」と声を弾ませた。横手からのシュート、シンカーなど多彩な変化球を織り交ぜ相手打線を手玉に取った。投球数はわずか64球。内訳は三振3、内野ゴロ8、内野飛球6、外野飛球4の完璧な投球だった。前日の二回戦で同僚の山口が6回参考ながら完全試合を達成したばかり。「自分も打たれるわけにはいかない、と思っていた」と負けん気を見せた。

【親銀】	打安	点	
⑨ 北田	3	0	0
④ 原田	2	0	0
⑦ 丸本	3	1	0
⑤ 添田	3	1	1
② 田村	3	1	1
③ 前川	2	0	0
⑧ 中村	1	0	0
⑥ 清水	1	0	1
① 江口	2	0	0
	20	3	3

安中ク、先制実らず

【準々決勝】(かきどまり第2試合) 振球犠盗失残併

生月体協	011 001 1	4	1	4	2	1	0	9	1
安中クラブ	200 000 0	2	3	2	0	1	1	3	0

1時間39分

【評】好機を確実に生かした生月体協が競り勝った。生月は1-2で迎えた三回に塩屋、森田吉、戸田の3連打で同点とし、六回には一死一三塁からヒットエンドランを仕掛け、内野ゴロの間に藤永が生還して勝ち越した。

安中クラブは初回に岩本の2点適時打で先制したが、その後は攻撃に工夫がなく、生月の投手リレーにかわされた。

【安中】	打安	点	
⑧ 田島	2	0	0
⑤ 平野	3	1	0
⑥ 柿本	3	1	0
④ 岩本	2	1	2
⑨ 永川	3	0	0
③ 高見	3	0	0
⑦ 宮崎	3	1	0
① 大町	1	0	0
H21 大場	2	0	0
②12 松尾	2	0	0
	24	4	2

西海棒球団散発2安打

【準々決勝】(ビッグN：第1試合) 振球犠盗失残併

西海棒球団	000 000 0	0	5	0	0	1	0	2	1
三菱重工長崎	012 021 X	6	2	4	3	4	0	6	0

1時間29分

【二】小森

【評】三菱重工長崎が格の違いを見せつけた試合だった。攻めてはクリーンヒットあり、バントヒットありで計11安打を放ち、これに犠飛や盗塁を絡ませて6点。投げてはエース格の小森が横手からのスライダを有効に使って西海棒球団を散発2安打に抑え完封勝ち。危なげない勝ちっぷりだった。

西海は投手陣が三菱打線を抑え込むのは難しいのだから、打線が援護しないと互角の勝負は挑めない。

【西海】	打安	点	
⑧ 吉牟田	3	1	0
⑥1 太田昭	3	0	0
⑤6 船木	3	1	0
⑨ 辻尾	3	0	0
① 太田勇	2	0	0
5 本田	1	0	0
② 椿山	3	0	0
④ 辻田	3	0	0
③ 山中	3	0	0
⑦ 山下	1	0	0
H7 今崎	1	0	0
	26	2	0

【三菱】	打安	点	
⑨ 榊本	2	1	0
⑧ 菅	4	2	0
⑤ 宮本	3	2	1
⑦ 江添	2	1	1
③4 石川	2	2	1
⑥ 中村	1	1	1
④ 久米	2	0	0
H 山辺	1	0	0
3 山崎	0	0	0
② 鈴木	3	0	1
① 小森	3	2	0
	23	11	5

中野がノーヒットノーラン

【森山】打安点

⑥	藤山	3	1	0
④	井手	3	0	0
⑤	緒方	3	2	1
⑨	馬場	3	1	1
9	岸川	0	0	0
③	土橋	3	0	0
②	山本	2	0	0
①	中野	2	0	0
⑧	草野	2	1	0
⑦	橋村	3	0	0
		24	5	2

【準々決勝】(ビッグN:第2試合) 振球犠盗失残併

森山クラブ	200 000 0	2	3	2	1	0	2	4	0	1時間26分
ソニー長崎	000 000 0	0	2	3	1	3	0	6	1	【三】緒方

【評】森山クラブの中野投手がソニー長崎を相手にノーヒットノーランを記録した。森山クラブはソニー長崎の水本投手の立ち上がりを激しく襲い藤山の一塁内野安打を口火に、緒方、馬場の長短打で2点を先制。これをソニー長崎がいつ挽回するかに興味がかかったが、直球とカーブの配合よく、しかもコーナーに入ったり出たりの森山ク・中野の投球術にはまって四球の走者は出すものの快音は聞かれずじま이었다。

森山クラブはC級で今季の西日本2部と高松宮賜杯2部の県大会に出場しそれぞれ1勝を挙げているが、A級のソニー長崎を倒したのは金星。県選手権は昭和59年第34回大会が初出場。それから13年間は轟クラブや小長井クラブが出場。昨年二度目の出場で1勝を挙げている。

【ソニー】打安点

⑥	川下修	2	0	0
H	種村	1	0	0
④	川下友	2	0	0
9	道上	0	0	0
②	戸嶋	3	0	0
⑧	増本	2	0	0
⑨	平湯	1	0	0
H4	川田	1	0	0
⑤	天野	3	0	0
③	川原	3	0	0
⑦	山口	2	0	0
7	吉崎	1	0	0
①	水本	1	0	0
H	西山	1	0	0
		23	0	0

生月に魔の3回

【親銀】打安点

⑨	北田	4	0	0
④	原田	2	0	0
H4	沖本	1	0	0
⑦	丸本	1	0	0
⑤	添田	3	2	3
②	田口	2	0	0
③	前川	3	1	1
⑧	中村	3	0	0
⑥	清水	3	0	0
①	山口	3	1	0
		25	4	4

【生月】打安点

⑥	福田	3	1	0
⑧	尾崎	3	1	0
③	塩屋	3	0	0
⑤	森田吉	3	0	0
④	戸田	3	0	0
②	藤永	2	0	0
①	石屋	2	0	0
⑦	塚本	2	1	0
⑨	墨本	1	0	0
H9	森田輔	1	0	0
		23	3	0

【準決勝】(かきどまり:第3試合) 振球犠盗失残併 1時間43分

親和銀行	004 000 0	4	2	4	0	0	0	4	1	【三】添田、前川
生月体協	000 000 0	0	8	0	0	2	0	2	0	

【評】親銀の山口が3安打完封し前日に続いて2試合連続完封勝利を飾った。山口は速球とカーブ、スライダーのコンビネーションが良く相手に付け入るスキを与えなかった。3安打のうち2本は内野安打でしかも無四球。ほぼ完璧な内容だった。打線も三回に生月の石屋の制球の乱れにつけ込み一死満塁とし添田が右翼線に一掃三塁打。前川も三塁打して追加。ソツのなさを見せた。生月は七回無死一三塁の絶好機も山口の投球に封じられた。

生月体協は今季の国体一般B県代表選考会で3勝をあげて決勝戦に進出。三菱重工に0-5で初の九州国体出場を逃している。選手権では6年前の平成5年第43回大会の二回戦で三菱重工を破って(2-1)初の決勝戦進出。親和銀行に3-1敗戦している。ベスト4 (S63年、H4年) 進出は準優勝を含めて今回が4度目。

森山ク、あと一歩

【評】三菱重工が辛勝した。1点差を追う5回裏の三菱は一死後に代打の梶田が四球で出塁すると土橋の連続ボークを誘って三進し、守田の右前打で同点とした。さらに梶本の安打と山辺が選んで満塁。宮本の当りは遊ゴロだったがスタートを切っていた守田が還って逆転。五回から田口を救援していた守田が締めくくって決勝進出した。

森山クラブは四回に連打と内野ゴロで迎えた一死二三塁の好機に田口の連続暴投に恵まれ一度は優位に立ったが土橋が梶田の足に惑わされて連続ボークを犯してリードをファイにした。釣り上げた大きな魚を逃がした感じだった。

【準決勝】(ビッグN:第3試合) 振球犠盗失残併 1時間38分

森山クラブ	000 200 0	2	5	1	0	0	2	3	0
三菱重工長崎	100 020 X	3	3	2	1	0	0	4	0



【森山】打安点

⑥	藤山	3	0	0
④	井手	3	1	0
⑤	緒方	3	2	0
⑦	馬場	3	0	0
③	中野	2	0	0
②	山本	3	0	0
①	土橋	3	1	0
⑨	本村	3	0	0
⑧	橋村	2	0	0
8	岸川	0	0	0
		25	4	0

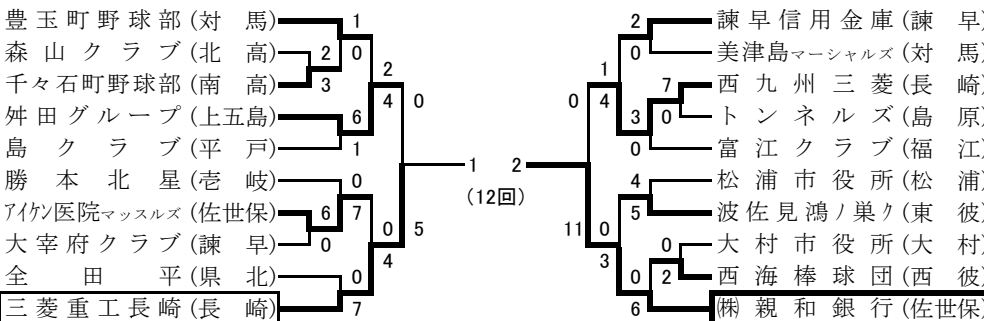
【三菱】打安点

⑧	梶本	3	1	0
⑨	山辺	2	1	0
⑤	宮本	2	0	1
⑦	江添	3	0	1
④3	石川	3	0	0
⑥	中村	3	0	0
②	鈴木	3	0	0
③	山崎	0	0	0
H	梶田	0	0	0
4	久米	0	0	0
⑧	田口	1	0	0
①	守田	1	1	1
1	守田	1	1	1
		21	3	3

5回裏三菱重工は一死三塁で守田が同点の右前打

天皇賜杯第54回県予選 7.3~:諫早

全日本大会 9.3~:京都府



榊親和銀行
【二】 3-1 福井市役所(福井)
【三】 7-1 小林記録紙(愛知東)
【準々】 0-4 佐藤薬品工業(奈良)

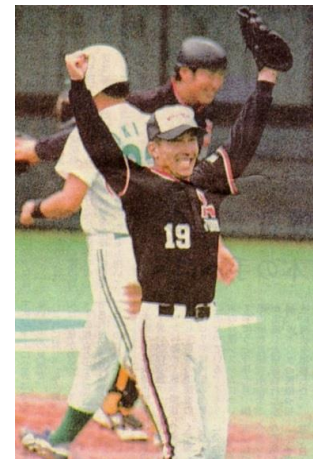
三菱重工長崎V

前年の覇者 親和銀行下す 3年ぶり 11度目

【評】決勝戦にふさわしい緊迫した好試合は打力で上回った三菱重工長崎が制し、三年ぶりの優勝を果たした。

三菱の打者は鋭いスイングで親和銀行の先発山口をとらえ三、四、五回と得点圏に走者を進めたがあと1本が出なかった。ようやく六回に宮本、江添の連打と送りバントで一死二三塁として、中村の投ゴロの間に宮本がスタート良く本塁を突いて待望の先取点を挙げた。投げては先発の小森が力のある直球にカーブ、シンカーを巧みに織り交ぜ好投。9奪三振の力投で完封勝利した。

親和銀行はよく守ったが打線にやや迫力を欠いた。五回一死一二塁や九回一死二三塁の好機も後が続かず、粘り強く投げた山口を援護できなかった。



小森にMVPと優秀投手賞 ○…三菱重工長崎のエース小森が最高殊勲選手賞と最優秀投手賞の二つのタイトルを手にした。準々決勝の西海棒球団戦に続き2試合連続の完封。この日は横手から重い直球と緩いカーブ、シンカーを繰り出し力と技で相手を抑え込んだ。「直球が走り変化球も切れた。楽に投げられました」と、会心の笑顔を見せた。

入社12年目のベテランでMVPは3年前に次ぎ二度目。「親和銀行には絶対に力は劣らないと思って投げ続けた」とエースのプライドをのぞかせた。

最後の打者を遊飛に打ち取り喜び、三菱重工長崎のエース小森

「親和対策」で雪辱果たす ○…三菱重工長崎は宿敵の親和銀行を想定して練習した『親和対策』が実った。7月の天皇賜杯全日本県予選の決勝で延長12回の末1-2でサヨナラ負け。それ以降、「1点をやらない守備」をモットーに掲げ走者を置いた守備練習などに重点を置いた。またこの日は打者がいつもより一握りずつバットを短く持って親和のエース山口をとらえ、9安打を浴びせた。布村監督は「親和さんには絶対負けたくない、という気迫があった」と練習の成果を出した選手たちを讃えた。



記事と写真は平成11年11月2日付けの長崎新聞より抜粋と転載

【決勝戦】11/1 ビッグN 振球犠盗失残併

三菱重工長崎	000 001 000	1	4	3	2	1	0	11	0
親和銀行	000 000 000	0	9	0	1	0	0	5	0

【二】榎本、沖田 2時間25分

【三菱】	打安点	【親銀】	打安点
⑧榎本	3 2 0	⑨北田	4 0 0
⑨山辺	4 1 0	④原田	4 1 0
⑤宮本	5 1 0	⑦丸本	3 0 0
⑦江添	4 3 0	H沖田	1 1 0
③石川	2 0 0	⑤田口	4 1 0
⑥中村	4 0 1	②田口	4 0 0
④久米	4 0 0	③前川	3 2 0
②鈴木	4 1 0	⑧中村	2 0 0
①小森	4 0 0	⑥清水	3 0 0
	34 9 1	①山口	2 0 0
		H中田	1 0 0
		1江口	0 0 0
			31 5 0

【表彰選手】

◇最高殊勲選手賞	小森 幸徳 (三菱重工)
◇優秀選手賞	鈴木 亮一 (三菱重工)
◇敢闘賞	山口 淳一 (親和銀行)
◇勝利監督賞	布村 正樹 (三菱重工)
◇首位打者賞	榎本 大輔 (三菱重工)
◇優秀投手賞	小森 幸徳 (三菱重工)
◇完全試合賞	江口 正敏 (親和銀行)

平成11年に開催されたその他の競技会の戦績① (一般のみ)

第54回国体一般B予選 5.22～長崎

ハウステンボス(佐世保)	0	2	生月体協(県北)	
三菱重工長崎(長崎)	8 6	0 0	浜屋百貨店(長崎)	
諫早信用金庫(諫早)	1	1	大瀬戸クラブ(西彼)	
舩田グループ(上五島)	3	0 7	番クラブ(佐世保)	
御厨ベイスターズ(松浦)	0	0	大村市役所(大村)	
島原市役所(島原)	2	5	福江市役所(福江)	
郷ノ浦ヤンキース(杵岐)	4 3	0	ソニー長崎(諫早)	
波佐見野球倶楽部(東彼)	9	7 0	平戸クラブ(平戸)	
豊玉サンライズ(対馬)	0	5	0	厳原マリナーズ(対馬)
轟クラブ(北高)	6	0	4	愛野町体協野球部(南高)

第54回国体成年県予選 6.12～平戸

佐世保西海クラブ(佐世保)	6	没収
松浦壮年クラブ(松浦)	2 2	
波佐見名球会(東彼)	4	0
おじんクラブ(平戸)	3	6
大村市役所(大村)	2	0
コーカスクラブ(長崎)	7	
厳原海王(対馬)	1	
大瀬戸壮年野球部(西彼)	7 7	1
上五島迷球会(上五島)	0	3
メンフッズ福江(福江)	4	
轟壮年クラブ(北高)	2	

国体一般A予選 4.25：佐世保

(3戦2勝方式)

親和銀行 3-1 アイケン医院マッスルズ
親和銀行 7-1 アイケン医院マッスルズ

第54回国体九州予選 8.20～宮崎県

一般A 【一】○沖繩選抜 【代】●福岡
一般B 【一】●大分
成年 【一】●大分

平成11年に開催されたその他の競技会の戦績② (一般のみ)

第21回西日本1部県予選 4.3～:飯盛

諫早信用金庫(諫早)	0
大村市役所(大村)	1 2
上対馬クラブ(対馬)	0 4
波佐見鴻ノ巣クラブ(東彼)	4 6
南串野球部(南高)	1 1
福江球友会(福江)	2 1
舩田グループ(上五島)	1 5
生月体協(県北)	0 2
飯盛クラブ(北高)	1 3
島原市役所(島原)	0
西九州三菱(長崎)	1 棄
平戸クラブ(平戸)	5 1
中興化成工業(松浦)	1 9
西海棒球団(西彼)	2 0
東海クラブ(壱岐)	0 1
けんみん(佐世保)	7

西日本大会【1部】 5.21～:大分県

【一】 5-7 壬生クラブ(京都)

第21回西日本2部県予選 4.11～:島原

九電長崎支店(長崎)	13
安中クラブ(島原)	1 9
郷ノ浦 Yankees(壱岐)	4 0
森山クラブ(北高)	6
長崎東芝セラミックス(東彼)	6
アリアケジャパン(県北)	5 2
美津島マーシャルズ(対馬)	9 0
メンフッズ福江(福江)	5
B R A B U S(諫早)	5
エアーウイング(大村)	9 4
千々石町野球部(南高)	4 0
九電相浦(佐世保)	1
西龍クラブ(平戸)	0
n D o(西彼)	7 1
天星会(松浦)	6

雨天順延で第2日が月曜になり棄権2チーム

西日本大会【2部】 5.28～:宮崎県

【一】 2-3 大阪相互信用金庫

第22回九州選手権県予選 4.10～:長崎

J A長崎経済連(長崎)	0
三菱重工長崎(長崎)	12 2
轟クラブ(北高)	3
西部ガス(長崎)	0
アイケン医院マッスルズ(佐世保)	4 8
J A長崎共済連(長崎)	1 2
ソニー長崎(諫早)	4

2チーム参加

第3回西日本選手権県予選 9.11～:長崎

三菱重工長崎(長崎)	1
J A長崎共済連(長崎)	0 0
アイケン医院マッスルズ(佐世保)	4 2
西部ガス(長崎)	2 0
J A長崎経済連(長崎)	3 0
ソニー長崎(諫早)	1

西日本選手権大会 11.6～:徳島県

【一】 2-5 大津市役所野球部(滋賀)

高松宮賜杯第43回1部 6.19～:佐世保

全田平(県北)	7
御厨バイスターズ(松浦)	0 2
T E A M橋口(大村)	6 1
西海棒球団(西彼)	9 5
松石電設(諫早)	6 1
巖原レパーズ(対馬)	0 5
福江球友会(福江)	0 1
飯盛クラブ(北高)	1 0
平戸クラブ(平戸)	0 3
けんみん(佐世保)	5 2
浜屋百貨店(長崎)	3 4
彼杵スラッガーズ(東彼)	0 4
島原市役所(島原)	2 1
奈良尾クラブ(上五島)	3 2
東海クラブ(壱岐)	1 6
愛野体協野球部(南高)	7

九州ブロック(鹿児島)で勝利

高松宮賜杯全日本1部 富山県

【一】 9-2 タブロス(榎)(秋田)

高松宮賜杯第43回2部 5.29～:波佐見

エアーウイング(大村)	13
西龍クラブ(平戸)	0 4
箱崎クラブ(壱岐)	2 0
鹿町クラブ(県北)	3 5
n D o(西彼)	1 3
K A I D E N(松浦)	19 9
ファイヤーバード(上五島)	4 1
森山クラブ(北高)	7 5
ホワイトスターズ(東彼)	2 4
長崎市水道局(長崎)	4 7
安中クラブ(島原)	5 6
佐藤小佐世保クラブ(佐世保)	1 4
小川仏具クラブ(諫早)	0 2
美津島ポパイ(対馬)	1 4
福江クラブ(福江)	14 5
泉川病院野球クラブ(南高)	1

九州ブロック大会が長崎のため全国へ

高松宮賜杯全日本2部 9.17～:兵庫県

【一】 0-8 モンペリねもと(茨城)

第51回県民体育大会 11.11～:佐世保

(北高来)轟クラブ	4
(福江)福江市役所	0 6
(北松浦)生月体協	3 2
(島原)安中クラブ	2 7
(長崎)九電長崎支店	2 5
(佐世保)アイケン医院マッスルズ	6 1
(西彼杵)西海棒球団	5 3
(平戸)平戸クラブ	7 1
(南高来)千々石町野球部	0 2
(対馬)上対馬メッツ	2 0
(諫早)ソニー長崎	4 4
(大村)T E A M橋口	0 5
(松浦)今福メッツ	0 0
(五島)富江クラブ	8 6
(壱岐)箱崎クラブ	4 1
(東彼杵)波佐見鴻ノ巣ク	0

第7回県壮年大会 10.23～:大村

福江クラブ(福江)	5
おじんクラブ(平戸)	1 2
大瀬戸壮年野球部(西彼)	8 2
長崎市役所(長崎)	4 4
飯盛SPクラブ(北高)	5 0
大村市役所(大村)	0 6
北松壮年(県北)	1 7
松浦壮年クラブ(松浦)	5 4
豊玉壮年クラブ(対馬)	0 10
佐世保西海クラブ(佐世保)	4